

【別紙２】車両メンテナンス業務の内容

委託業務	委託業務の内容	委託業務の実施方法、委託業務に含まれない項目等
定期的な点検整備及び車検整備 各課が保有する公用車両（以下「公用車」という。）の安全な運行を確保するため、右の点検・整備等を実施する。	（１）スケジュール点検 使用状況に応じた定期的な点検及び整備 ・ 6か月点検整備（車検周期が2年の車両）	・ 6か月点検については、（２）法定点検に準じたものとする ・ 目安として法定点検又は車検整備の6か月前に実施する。
	（２）法定点検 道路運送車両法第48条に基づくスケジュール点検及び整備 ・ 6か月点検整備（車検周期が1年の車両） ・ 12か月点検整備（車検周期が2年の車両）	・ 目安として次の期間に実施する。 ア 6か月点検整備 車検整備の半年前 イ 12か月点検整備 車検整備の1年前
	（３）車検整備 道路運送車両法第62条に基づく自動車継続検査のための点検及び整備 ・ 車検整備（契約期間中に車検有効期限が到来した車両）	・ 車検整備に係る諸経費のうち、自賠責保険料及び重量税は委託費に含むこと。
	（４）上記（１）から（３）までの各種点検整備における油脂類等の交換及び経費負担	・ エンジンオイルの交換 ア 目安として1万km又は1年（軽自動車は5千km又は半年） イ 回目の点検までに交換基準を超えると予測される場合は、基準到来前に交換すること。 ・ オイルエレメントの交換 ア 目安として1万km又は1年（軽自動車は5千km又は半年） イ 回目の点検までに交換基準を超えると予測される場合は、基準到来前に交換すること。 ・ ブレーキオイルの交換 （３）車検整備時に交換すること。 ・ オートマオイル、ギアオイルの交換 各メーカー推奨基準により交換すること。 ・ クーラント液その他の消耗品（ワイパーゴム、ウォッシャー液、タイヤの交換） 各種点検時必要に応じて交換すること。 ・ 別紙１「対象車両一覧」特記事項欄に記載がある対象車についてはその特記事項の内容についても履行すること。
臨時の点検整備及び故障修繕 車両の正常な使用中に発生又は発生が予測される機能不全に対し、右に掲げる臨時の点検・整備等、故障修繕を実施する。	（１）エンジン及び動力伝達装置関係 燃料噴射ポンプ、各ベルト類、ウォーターポンプ、クランクシャフト、オイルシール、インジェクター等クラッチ、ミッション等の点検整備 ※ベルト類の消耗品交換に係る経費は、委託費に含むこと。	・ 次の原因により発生した機能不全に対する修繕等は、委託業務に含まないものとする。 ア 運転者又は第三者の故意又は過失によるもの イ 法令違反又は異常な使用に起因するもの ウ 天変地異、その他不可抗力に起因するもの エ 事故に起因するもの ・ 次に該当する点検・整備等、故障修繕は、委託業務に含まないものとする。 ア 法令等の制定、改変により新たに必要となる車両整備 イ 利用目的、利用形態の変更等に伴い必要となる車両整備 ウ 受注者又は受注者の指定工場の事前承認を得ていない工場等における修理、整備、消耗品の交換等 エ 車両への看板設置、文字書き、架装部分（拡声器等）の運行の安全を確保するために必要と認められない業務 ・ 路上故障や緊急時のサポート（ロードサービス）業務については、サポート体制表を提出するとともに、対象車両にも具備する。
	（２）電気（機）装置及び各部計器関係 セルモーター、オルタネーター、方向指示器等灯火類、メーター類、スパークプラグ等の点検整備 ※灯火類、メーター類、プラグ等に係る経費は、委託費に含むこと。	
	（３）かじ取り装置及び制動装置関係 ブレーキパッド、ブレーキシュー、ハンドルまわり（パワーステアリングホース類等）等の点検整備 ※ブレーキパッド等の消耗品交換に係る経費は、委託費に含むこと。	
	（４）空調装置関係 エアコン、ヒーター、コンプレッサー、ガスチャージ等の点検整備 ※ホース等の消耗品交換に係る経費は、委託費に含むこと。	
	（５）その他、車両の安全運行を確保するために必要な装置等 ラジエーター、走行装置（タイヤほか）等の点検整備 ※ホース等の消耗品交換に係る経費は、委託費に含むこと。	